

授業科目の区分		選択		講義番号				
授業科目		口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学		授業担当責任者		高柴 正悟 教授 所属:歯周病態学 内線:6675		
対象年次		1 年次		講義室		歯学部棟 4階 第一示説室		
講義の概要		<p>■口腔ケア学：急性期・慢性期の口腔の機能および口腔内の疾患を理解する。さらに、口腔疾患と全身疾患との関連についても学ぶ。高齢者の生命予後やQOLに大きく影響する口腔ケアについて、急性期、回復期、維持期の病期ステージに分けて系統講義を行う。また、実際の口腔ケアの技術についても学習し、大学院生各自の所属する医療機関で自院の歯科診療科や地域の歯科診療施設との連携体制を構築し適切に患者紹介ができることを目標とする。① 口腔の機能を理解する。② 口腔内の疾患について理解する。③ 口腔ケア(急性期, 慢性期)の意義, 実際について理解する。④ 介護保険や歯科医療保険の制度を理解し, 地域において適切に紹介ができるようになる。</p> <p>■摂食嚥下機能評価学・栄養学：栄養を経口から摂取することの重要性を理解するとともに、経管栄養・胃瘻等における栄養管理や、嚥下障害に応じた食事形態・対応法などの実際について学ぶ。さらに、歯科領域から関与する摂食・嚥下リハビリテーションの実習(嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査による診断・評価も含む)を集中的に行うことにより、中核病院や在宅研修の際に実際に使えるレベルの技術にまで高めることを目指す。① 摂食・嚥下の機能について理解し、評価できるようになる。② 摂食・嚥下リハビリテーションが必要か否か診断し、適切な訓練法を指示できるようになる。③ 経口および経管栄養・胃瘻等の栄養管理を理解する。④ 中核病院や在宅研修の際に実際に使えるレベルの技術にまで高めることを目指す。</p>						
学習目標		病院および地域医療で必要とされる口腔ケア・摂食嚥下機能・栄養に関する基礎と実際面を修得する。そして、実践の場を通じて、今後に必要な内容を創生できる医療者となる。						
成績評価方法		授業科目に関する知識を集中的に学ぶため、すべての講義に出席することを基本とする。成績の評価及び単位の認定にあたっては、小テスト、レポートの他、2/3以上の出席(10コマ以上)を必要とする。						
番号	月 日	曜日	時限	担当分野等	担当教員	実施協力者	講義 題目	授業 内容
1	12月 4日	金	5 (17:30-19:00)	歯周病態学	高柴正悟教授		口腔ケアの実践から学問体系へ	臨床現場での必要性から実践が始まった多職種連携の口腔ケアを、背景、目的、方法(評価・実践・評価)、家族への説明などを纏めた総論
2	12月 4日	金	6 (19:10-20:40)	医療支援歯科治療部	曾我賢彦助教		口腔ケアの効果とその判定	細菌感染と粘膜障害の制御がもたらす全身の効果に関する総論
3	12月11日	金	5 (17:30-19:00)	医療支援歯科治療部	曾我賢彦助教	杉浦裕子先生 (岡山大学病院・歯科衛生士・腫瘍センター担当)	病棟での医師・看護師との連携	岡山大学医学部・歯学部附属病院における臓器移植や癌治療患者での実践例を元に、現場スタッフとともに講義と検討会を行う(急性期口腔ケア)
4	12月11日	金	6 (19:10-20:40)	歯周病態学	高柴正悟教授	鷲尾憲文先生 (鏡野町国保診療所・富・所長)	要介護施設での口腔ケア	アンケート結果を基に、要介護施設での口腔機能管理に関する問題を提示し、対策の提案を行う
5	12月18日	金	5 (17:30-19:00)	歯周病態学	高柴正悟教授	久保克行先生 (鳥取市立病院・地域ケアセンター、歯科・医長)	医療経済と人材活用との関連	市井の病院歯科における長期入院患者の実践例を元に、現場の歯科衛生士とともに講義と検討会を行う(慢性期口腔ケア)
6	12月18日	金	6 (19:10-20:40)	歯周病態学	高柴正悟教授	澤田弘一先生 (鏡野町国保診療所・上斎原・所長)	認知症患者の口腔ケア	豊富な実践例を紹介して、実践方法の演習と問題点の検討を行う(特に服薬の副作用を含めて)
7	12月25日	金	5 (17:30-19:00)	歯周病態学	高柴正悟教授	新井英雄先生 (国立療養所邑久光明園・歯科・医長)	口腔ケアに直結する身体障害	ハンセン病療養所での実践例を基に、咽頭部、手指、眼に障害のある場合での実践例の紹介と問題点の検討を行う
8	12月25日	金	6 (19:10-20:40)	歯周病態学	高柴正悟教授	小林芳友先生 (津山積善病院・歯科・医長)	病院歯科での組織的取組	病院歯科介護研究会としての取組を基に、病院機能における口腔ケアを体系的に講義する
9	1月 8日	金	5 (17:30-19:00)	予防歯科学	森田学教授		高齢者歯科疫学	高齢者における、口腔疾患、口腔機能、口腔ケア、栄養などに関する疫学調査を示す
10	1月 8日	金	6 (19:10-20:40)	予防歯科学	森田学教授	木村年秀先生 (三豊総合病院・歯科・医長)	在宅訪問診療での対応	在宅訪問診療における医科・歯科連携による栄養摂取等の工夫について説明(地域連携バスと保険制度を含む)
11	1月15日	金	5 (17:30-19:00)	スペシャルニーズ歯科センター	江草正彦准教授		ノーマライゼーションと支援	障害をもつ人々たちに対する口腔機能支援について解説
12	1月15日	金	6 (19:10-20:40)	咬合・有床義歯補綴学	皆木省吾教授		咬合・咀嚼機能とNST	歯科補綴物を用いた咬合・咀嚼・嚥下機能回復ならびに病院内におけるNSTの役割について説明
13	1月22日	金	5 (17:30-19:00)	スペシャルニーズ歯科センター	村田尚道助教		摂食・嚥下リハビリテーション	病院歯科における摂食・嚥下リハビリテーションの理論と臨床アウトカムについて説明
14	1月22日	金	6 (19:10-20:40)	スペシャルニーズ歯科センター	前川享子助教		摂食・嚥下リハビリテーション2	在宅における摂食・嚥下リハビリテーションの理論と臨床アウトカムについて説明
15	1月29日	金	5 (17:30-19:00)	口腔生理学	松尾龍二教授		口腔機能と栄養の生理	口腔機能と栄養について基礎科学の視点で解説
16	1月29日	金	6 (19:10-20:40)	歯周病態学	高柴正悟教授	福家教子先生 (国立療養所大島青松園・歯科医長)	機能に応じた食物形態	ハンセン病療養所での実践例を基に、要介護入所者の摂食・嚥下機能および実際に摂取している食物形態について説明
業科目と研究活動との関連		学生諸氏へ教員等の日常臨床活動を伝えるとともに、教授内容の学問体系化を教員・学生で共に図る						